



3R・低炭素社会検定

を支える組織が発足しました

一般社団法人 持続可能環境センター

2019年4月1日設立

代表理事 高月 紘

事務所 〒600-8085

京都市 下京区 葛籠屋(つづらや)町515-1



ごあいさつ

3R・低炭素社会検定実行委員会では、持続可能な社会の実現に向けた知見を持つ人材の育成と定着を図ることで、社会にムーブメントを起こしていこうと活動を始めました。

約 10 年前、いわゆる「アンチ・エコ」ブームや「エコ偽装」問題などが社会で注目を集め、客観的・複眼的に環境問題を捉えることの必要性があったこと、企業や自治体等において、環境職が定着してきたものの、なかなか主流化できていなかったこと、などが後押しになりました。

そこで、3R(循環型社会)及び低炭素社会の実現に必要な知見を集めた辞典のようなテキストを作成し、それで勉強していただいた成果を確認していただくための検定試験とともに教育プログラムをスタートさせました。

この間、多くの方々にテキストを愛読していただき、また、多くの方に受験していただき、さらには、全国の合格者の方々と、地域パートナー団体との交流を続けております。任意団体でありながら、こうして 10 年継続することができたのも、このような多くの方々の熱意と支援によるものです。



作者註: どうやら、SDGsでは複数のゴールをめざすのが良いようです

しかし、国連 SDGs(持続可能性目標)に代表されるように、持続可能な社会の実現に向けては、より幅広く、かつ具体的な行動が求められるようになってきました。日本においては、地球社会において多くの役割が期待されると同時に、多くの地域課題を抱える時代に入入ると思われれます。



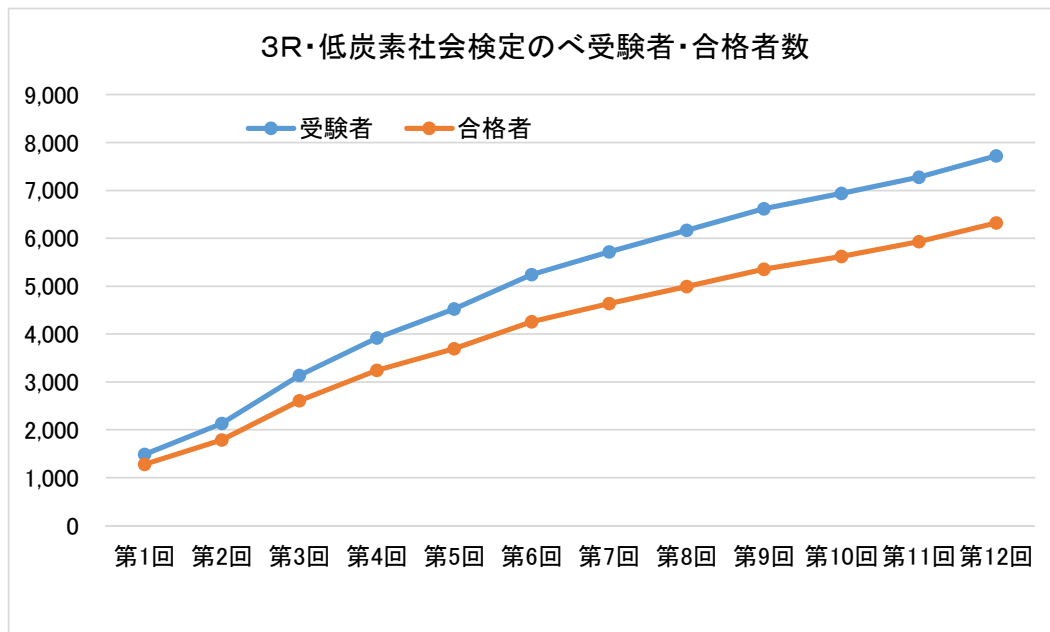
そこで、今後に向けて、真に地域の持続可能性を支える人材育成と、そのネットワーク化、それらを支える専門家組織との連携を見据え、体制をより強化するために、このたび「一般社団法人持続可能環境センター」として法人化をおこないました。

みなさまには、今後ともより一層のご支援を賜りたく、お願い申し上げます。

2019年4月1日

一般社団法人持続可能環境センター理事一同
代表理事 高月紘

3R・低炭素社会検定の広まり



のべ受験者数 7,722名 のべ合格者数 6,321名

(3R検定、低炭素社会検定は別にカウントしています。第13回検定は新型コロナウイルスの影響で中止)

【持続】 社会基盤としての 3R・低炭素社会検定の運営

2009年1月「3R 検定」として始まり、「低炭素社会」も加わって毎年検定が実施され、2021年で第14回を数えます。全国47都道府県におられる、のべ6,000名を超える合格者のみなさんは、知見を活かし、それぞれ企業、自治体、地域等で活躍をされています。持続可能な社会の構築が世界的に求められる中、企業や自治体の資格認定制度としても活用頂いております。

法人化を機に、よりいっそう多くの方が、検定を通じて世の中で活躍できるよう、確実な運営と支援の体制を整えます。



3R検定は実践行動への検定です。



テキスト・問題集の発行



講習会(検定会場ごと実施)の開催



検定(第12回は全国9会場)の実施



合格者ミーティング等の開催

【可能】 協力しあうことで作ることができる、新しい時代

SDGs、ESG 投資、パリ協定、サーキュラーエコノミーなど、持続可能な社会を構築するという目標に向かって世界が大きく動いています。また、災害廃棄物や食品廃棄物、プラスチック廃棄物の動向など、世の中で必要される情報も変化しています。

単なる言葉だけでなく、そのベースにある考え方も含めて学び、生活・仕事の中でどう活かせるのかを、考えられるよう、新しいテーマについてもテキストなどに迅速に反映させ、時代に応じた知的ニーズに応えつつ、知見の蓄積・体系化を図っていきます。

そして、合格者が自信をもって、社会のめざす方向へ、活躍できるように、模索を続けます。



【環境】 地球環境保全に加え、関係者が活動しやすい環境も

地球環境を壊してきたのが私たち人間である一方、持続可能な社会を構築していくことができるのも私たちです。

本検定合格者や地域パートナー団体、専門家などが、多様な視点から議論・交流・勉強できる機会をつくり、ニーズやシーズを明らかにして結び付けていきます。

また、中長期的な視座に結びつく全国企画を作り上げることをめざします。



さらに、多くの専門家や、地域で活動する団体が参画している強みを生かし、海外展開、小学校向けの副読本作成、自治体や企業への講習会講師派遣なども、実現させていきます。

持続可能環境に結びつけるため

一般社団法人 持続可能環境センター (法人番号 5-1300-0501-5546)

代表理事 高月 紘(京エコロジーセンター館長、環境漫画家)

理事 花嶋温子(大阪産業大学准教授)

渡邊信久(大阪工業大学教授)

浅利美鈴(京都大学准教授)

鍋谷 剛(京都環境保全公社代表取締役社長)

事務所 〒600-8085

京都市下京区葛籠屋町 515-1 (有)ひのでやエコライフ研究所内

電話: 075-708-8144 FAX: 075-708-8153

E-mail: sec@3R-teitanso.jp

検定事務センター 〒542-0081

大阪府中央区南船場 1-16-13 堺筋ベストビル 9 階 (一財)環境事業協会内

電話: 06-6210-1720 FAX: 06-6210-1721

E-mail: info@3R-teitanso.jp

WEBページ(3R・低炭素社会検定)

<https://www.3R-teitanso.jp/>

3R 低炭素 検定

検索



現在及び将来世代が豊かな環境の恵沢を享受するとともに、人類の存続の基盤である環境が将来にわたって持続するよう、家庭・企業・コミュニティ等において必要な知見を体系化及び共有し、活動の輪を広げるための教育・人材育成プログラムを構築・維持することを目的に活動しています。

ご支援、ご参加ください

現在、会員を募集しています。別紙入会申込書にご記入の上、FAX・郵送にて事務局までお送りください。

年会費

団体正会員	1口	50,000円	団体賛助会員	1口	30,000円
個人正会員	1口	5,000円	個人賛助会員	1口	3,000円

※年額で3月締め金額です。10月以降入会の場合には初年度半額となります。

会員になっていただいた場合のメリット

検定運営を続けるにあたり、現在、第一線の研究者・専門家が協力して運営を行っています。会員になることで、3R・低炭素に関して、お悩みや質問にお答えできることも多くあります。また、多くの関係者との情報交流ができます。

1. 第一線の研究者・専門家との情報交流
2. 合格者ネットワークへの参加、3R・低炭素に関する最新情報提供
3. オンライン講習・模擬テストのチケット(正会員のみ)
4. 総会での議決権(正会員のみ、口数に関わらず1票)

第14回検定試験は 2021年11月7日(日)に実施します。